



煌めけ真壁っ子

学校便り 第 1 号
令和 6 年 4 月 11 日発行
学校長 津嘉山 博好

令和 6 年度が始まりました

真壁っ子の明るい笑顔と元気な声とともに令和6年度が始まりました。

昨年度、新型コロナウイルスの5類移行により、基本マスクなしの生活が始まりましたが、インフルエンザの流行により警報が発令され、マスクが再び必要になるなど、マスクが手放せない日々が続きました。今年度はインフルエンザ警報も解除されていますので、子供たちの顔を見ながら学習の理解度を確かめ、学校での学びを進めていきたいと思えます。今後とも、本校教育へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

就任式・始業式

4月8日(月)に新任職員を迎える就任式を行いました。児童代表の辻村理紗さんの歓迎の言葉で5名の職員をお迎えしました。続く就任のあいさつで、真壁っ子と早く仲良くなって一緒に頑張っていくという気持ちを表していました。

それに引き続き始業式を行い、1つ上の学年として新たな気持ちで新学期を迎えました。新年度の決意として、****さん(2年生)、****さん(4年生)、****さん(6年生)が新しい目標を持って頑張っていきますと決意を伝えてくれました。

また、新たに転入してきた子供たちもいますが、周りの友達がすぐに受け入れてくれました。すでに真壁っ子の一人として、みんなと一緒に活動しています。

新職員紹介

(教頭) 今井 一義 (教諭) 與那覇 奈美子 (教諭) 大城 優也
(特支支援員) 林 優子 (AET) 金城 英雄

入学式

4月9日(火)に入学式を行いました。25名の児童が新たに真壁っ子となりました。全員、式が終わるまでしっかり話が聞けていました。頼もしい限りです。これから仲良く楽しい学校生活がおくれるように、学級担任の上原実生先生を中心に全職員でサポートして参ります。



学校教育の目的とウェルビーイング、学校が目指す日常について

学校で行う教育の目的は、将来自立できる子供を育てることにあります。複雑で先の予測が困難な世界を生き抜くために必要な力を身につけさせることを目指し、小学校から大学まで、それぞれが学校の教育目標を掲げて子供たちに寄り添い、支援・指導にあたっています。

教育基本法という法律には、①幅広い知識と教養 ②豊かな情操と道徳心 ③健やかな身体の3つの内容についての記述があります。それを踏まえて、真壁小学校の学校教育目標もつくられています。

総括目標： やさしく・かしこく・たくましく

やさしく(心豊かな子) … お互いを認め合い、尊重し合う

かしこく(自ら考え自ら学ぶ子) … 自ら気づき、考え、行動する

たくましく(健康でたくましい子) … 心身を安らかに保ち、行動に責任を持つ

これからますます不透明で先の見通しが持ちにくい時代になると言われています。そんな時代を生きていくために、OECD(経済協力開発機構)はEducation 2030(教育とスキルの未来2030プロジェクト)を立ち上げ、2030年には全ての子供たちがウェルビーイング(よりよく生きること=幸せ)を実現することを目指してラーニング・コンパスを提唱しています。未知の状況の中でも自分たちの進むべき方向を見つけ舵取りをするという意味が込められています。これからの教育は、この方向性で進んでいきます。日本の学習指導要領の中にも、この考え方が取り入れられています。

真壁小学校でも、子供たちに必要なことは何か、学校にできること何かを考え、子供たちに育てたい資質・能力として目指す日常を設定しています。

<目指す日常(育てたい資質・能力)> ※ 今年度はワクワクを追加しました。

○笑い声(ワハハ)とひらめき(アハ!)・ワクワクがある

・ワ(和) … お互いの個性・違いを認める

・ハ(披) … お互いに心を開いて考えを伝え合い受け止め合う ※常用漢字外の読み方です

・ハ(破) … お互いの考えが新しい考えへと連鎖し合う

・アハ!(Aha!) … いろいろな考えに刺激を受けて一瞬のうちに”ひらめき”が生まれる

・ワクワク … 学びを始める・継続するもとなる

笑い声と理想とする状態を掛詞にして表現しています。アハ!(「あっ!」「あは〜っ」)は脳科学のアハ体験から取りました。また、どんな活動も、ワクワク感が無ければ長続きしません。将来の自立に向けて、子供たちと共につくっていききたい日常の姿です。



▲OECDのEducation2030プロジェクトで創り上げたラーニング・コンパス(学びの羅針盤)